

リニューアルしました！／

vol.161

2026年2月発行



今号の表紙

新年最初の行事として、入所者様に“今年の抱負”を絵馬に綴っていただきました。1月に100歳を迎えられた入所者様からは「元気良く、たのしく、皆さんと仲良くすごしたく存じます。」という、心温まる抱負をいただきました。

Index

- P1 デイケア：クリスマス会 | 新年会
 - P2 健康発信局 vol.5 | 防災訓練
 - P3 療養棟：クリスマス会 | 新年会
- 全国介護老人保健施設大会 in 山口

医療法人ミネルワ会

老人保健施設ミネルワ

愛媛県松山市高岡町 302-2

TEL(089)972-9500 FAX(089)972-9599

<http://www.mineruwa.jp>

ホームページ

リニューアル！

スマホでも見やすくなりました。
ぜひご覧ください！



ホームページ▲

デ イ ケ ア

クリスマス会では、ソリにプレゼント📺を載せて、障害物を乗り越える競技を行いました。微妙な段差に皆さん苦戦されていましたが、体全体を使って一つでも多くプレゼントを運ぼうと頑張っておられました。運動の後は、ケーキは、格別で皆さん、とびっきりの笑顔になっていました(^ ▽ ^)

美味しい！
見た目も
とても可愛い



Merry Christmas

新年会



お正月
おめでとう
2024年



新年会ではビンゴゲームをしました。景品は、一つとして同じものはない職員手作りのミネルワのお守りで、ビンゴが揃った方から選んでいただきました。いかに周りよりも早くビンゴが揃うかどうかで皆さん必死に参加されていました。おやつのはんぺいは懐かしく美味しいと大変好評でした！



このたびミネルワのホームページを
リニューアルいたしました。

施設の取り組みや、日々の様子がより分かりやすく伝わるよう、内容や構成を見直しております。

今度は、ブログの更新にも力を入れてまいりますので、ぜひとも、定期的にご覧いただけますと幸いです。

RENEWAL



こちらからアクセスできます▲

起き上がりの介助(全介助)

健康発信局

Vol.5



～寝返りの介助(全介助)は159号Vol.4を参照下さい～

1.ご本人が動きやすい姿勢を作る



2.介助者の姿勢

- ご本人に介助者が近づく
- 腕の内側全体で側頭部を、手のひらで背中を支える
- 大腿部の膝寄りに手を添える
- 介助者は足を広く開く



3.自然な体の動きに合わせた介助

- 介助者の身体の方を見てもらい、顔を起き上がる方向に向ける
- ご本人の頭が動く軌跡に注意し重心移動を利用して身体を起こしていく(腕の力で起こさない)



防災訓練



松山西消防局の方の指導のもと、消防訓練を実施いたしました。
いつもは寝たきりの方を避難させる時に毛布を使用しているのですが、今回は、毛布がなかった時の避難方法を教わり、実際の火災の際とても役立つ情報となりました。
いざという時に対処できるよう、皆で共有していこうと思います。

- ①体を起こす
- ②救助者の脇の下から手を入れる
- ③救助者の片方の手を、両手でしっかり握る。
- ④そのまま体を上に持ち上げる
- ⑤ひきずって、避難を開始する。



療

養

棟

クリスマス会では準備体操をして赤白チームに分かれて、玉入れをしました。その後は、お楽しみのケーキバイキング🍰好きなケーキを選んで笑顔いっぱいの会になりました。



Merry Christmas



今年の新年会では、皆さん
想い想いの願い事を絵馬に
書いていただきました。
何を書こうか迷われている方、
スラスラと目標を書かれる方
など、真剣に向き合われて
いらっしゃいました。
今年も笑顔いっぱいの年にな
りますように🍀



第36回 山口県 令和7年11月27(木)・28日(金) 全国介護老人保健施設大会

『昭和百年、老健 続く』

～想いを繋ぎ 技を磨き 人を繋ぐ～

療養棟 看護副主任 松下 香

この度、山口県開催の全国介護老人保健施設大会に初めて参加させていただきました。発表を聴く中で他施設の様々な取り組みを知ることができたとともに、当施設で取り組めることは何か？と課題を知るきっかけになったと感じました。

ご利用者様やご家族様に満足していただき、「ミネルワがいい！」と言っていただけるサービス提供が出来るよう、今回の学び・課題をスタッフ間で共有し、日々、精進していきたいと思います。

療養棟 生産性向上統括リーダー 安藤あゆみ

昨年より導入したインカムの発表をさせて頂き、とても緊張しましたが、いい経験になりました。インカムを導入することでどのような業務改善や効率化が図れたのかを様々なデータをもとに、どうすれば分かりやすく伝えられるか試行錯誤を重ねました。大変な作業でしたが発表を無事に終えられた時、安堵したと共に達成感を感じることができました。また、人手不足が深刻化の中で全国の仲間が良いケアに繋げるために行っている様々な取り組みを知ることができ、とても勉強になったと同時に介護業界のIT化は避けて通れない課題であり、その重要性はますます高まっていることを再認識する大会でもありました。この経験を活かして今後もいろいろな事にチャレンジしていきたいと思います。

